

学習内容を発達段階に合わせて分け、全学年に調理実習を

第1学年

学習内容 (頁は教科書該当頁)		時間数	学習活動 (■この項の学習課題／○生徒の活動, ☆教師の活動)
A 家族・家庭と子どもの成長	家庭分野ガイダンス	2	<ul style="list-style-type: none"> ■小学校の学習を振り返り、自分の成長を確認しよう。 <ul style="list-style-type: none"> ○マインドマップ風のワークシートにまとめる ■3年間の学習の見直しをもち、自立した生活者をめざそう。 <ul style="list-style-type: none"> ☆家庭科の学習が生活の自立や工夫・創造することにつながることに気づかせる。
	自分と家族	3	<ul style="list-style-type: none"> ■家族家庭の基本的な機能を知り、自分と家族のかかわりを考えよう。 <ul style="list-style-type: none"> ○グループワークにより、家庭や家族の基本的な機能について理解する。 ○アニメやドラマの家族からそれぞれの家族が大切にしているものに大きな違いがあることを知る。 ○視聴覚教材を視聴し、家族と協力したり、家族関係をよくしたりする方法を考える。 ☆各自が考えたことの発表内容から、気づきにつながるようにする。
	家庭生活と地域	2	<ul style="list-style-type: none"> ○地域にあるさまざまな家庭の支援施設やしぐみを調べてみよう(聞き取り調査)。 ○調べてきたことの発表を聞いて、家庭生活と地域のつながりの大切さに気づく。 ☆聞き取り調査の内容を分類し、家庭生活と地域のつながりを理解しやすくする。
B 食生活と自立	健康な食生活(その1)中学生の食生活と栄養	4	<ul style="list-style-type: none"> ■健康な食生活の内容を知り、日常食の調理実習を通して食品と栄養素のはたらきを理解しよう。 <ul style="list-style-type: none"> ○食事調べをして自分の食生活を振り返り、それぞれの問題点を見つける。 ☆6つの基礎食品群についての説明をする時に、給食との関係にも触れる。 ○米粉でだんごの調理実習をする。 ☆炭水化物の体内ではたらきと5群の食品について説明する。
	3. 調理をしよう(p.102～114, 122～129)	1	○復習として家庭で米粉のだんごをつくり、家族に食べてもらう課題をする。
		5	<ul style="list-style-type: none"> ○豚肉のしょうが焼き、さやえんどうのソテーの調理実習をする。 ☆たんぱく質、脂質の体内ではたらきと1群、6群の食品について説明する。 ○コンスープ、むじきの煮物の調理実習をする。 ☆無機質の体内ではたらきと2群の食品について説明する。
		1	○包丁名人テストを受け、いろいろな切り方を学ぶ。
	4	○豚汁、青菜のごまあえの調理実習をする。	
1	○これまで実習してきたことをもとに、中学生の1日分の献立を考える。		
1	☆汁二菜の献立形式について説明する。		
C 衣生活・住生活と自立	健康な衣生活	5	<ul style="list-style-type: none"> ■衣服のはたらきを知り、健康で自分らしく着るためには、どうしたらよいか考えよう。 <ul style="list-style-type: none"> ○標準服などの表面や表示を観察し、ワークシートに記入する。 ☆衣服のはたらきと健康を損なう着方の例などについて説明する。 ☆既製品の表示の意味を説明する。 ○ゲストティーチャーを招いて、標準服の着こなし講座を受け、目的に合わせた着方について学ぶ。 ■衣服を快適に着用するために、日常着の手入れができるようにしよう。 <ul style="list-style-type: none"> ○布の観察や実験を通して布の種類や特徴について知る。 ☆繊維の特徴や織り方についても補足説明する。 ○日常着の手入れのひとつとしてしみ抜きの実習をする。
	2. 日常着の手入れ(p.158～169)	2	○汚れ落ちに対する洗剤と機械力の効果を調べる実験(p.164)を行い、洗濯機や洗剤の特徴をまとめる。
		2	☆汚れ落ちの原理と洗剤と環境の関係についても触れる(p.170)。
1. わたしや家族の生活を豊かにする工夫(p.190)	4	<ul style="list-style-type: none"> ■和手ぬぐいを使って簡単な手提げ袋をつくり、使ってみよう。 <ul style="list-style-type: none"> ○和手ぬぐいを使った手提げ袋を製作する。 ○製作の手順、まつり縫い、スナップつけの方法を理解する。 ☆製作の手順、まつり縫い、スナップつけについて説明し、必要に応じて実技テストを行う。 ○完成した手提げ袋を学校行事などで使用し、レポートを提出する。 	
C 衣生活・住生活と自立	1 自分らしく着る・快適に着る	1	<ul style="list-style-type: none"> ■持続可能な社会の実現のために行われている、衣生活に関連した社会的な動きを知る。 <ul style="list-style-type: none"> ○古着のゆくえの視聴覚教材を見て、衣生活のリサイクルについて知り、自分にできそうなことや身近な例について考える。 ☆身近で行われている衣服のリサイクルの例などについて発表させる。

第2学年

学習内容		時間数	学習活動 (■この項の学習課題／○生徒の活動, ☆教師の活動)		
A 家族・家庭と子どもの成長	子どもの成長と家族	3. 幼児の生活と遊び(p.28～47)	<ul style="list-style-type: none"> 1 ■自分の幼児期をふり振り返り、自分の成長を支えてきたものは何か考えよう。 <ul style="list-style-type: none"> ○「おかあさんといっしょ」などの幼児番組を見て、自分の幼児期を思い出す。 2 ○迷路体験活動や発達の視点から編集された視聴覚教材の視聴から、幼児の発達の特徴についてまとめる。 2 ○市販のおもちゃや身近にあるもの、伝承遊びで遊んでみて、どのような感想を持ったのか発表し合い、幼児の遊びの意義を理解する。 		
		4. 幼児とのふれ合い(p.48～55)	<ul style="list-style-type: none"> 1 ○これまでの学習から、幼児とかわかるときの言葉かけの工夫や、注意点を発表し合い、ゲストティーチャーを迎える準備をする。 2 ☆次の時間に招くゲストティーチャーに聞いてみたいことや、観察のポイントを確認する。 ■幼児とふれ合いながら、幼児の生活と家族とのかかわりについて考えよう。 <ul style="list-style-type: none"> ☆ゲストティーチャーを迎える注意点などの確認をする。 ○ゲストティーチャーとして乳幼児の親子を招き、自分達が考えたかかわり方をしたり、インタビューしたりする。 ○幼児との遊びを通してわかったことをまとめる。 ○これまでの学習を通して、子どもが育つ環境としての家族の役割、幼児とふれ合うときのかかわりの工夫というキーワードについて自分の考えをまとめる。 		
		生活の課題と実践(p.241～245)	2	<ul style="list-style-type: none"> ■これまでの学習を生かして幼児の成長発達と家族家庭のかかわりについて工夫し実践しよう。 <ul style="list-style-type: none"> ○幼児の生活に役立つものを作ったり、使ったりして幼児とのかかわり方を工夫し、実践する。 ○実践してきたことをポスターセッション形式で発表する。 	
	C 衣生活・住生活と自立	2 快適に住まう	1. 住まいのはたらき(p.176～179)	3	<ul style="list-style-type: none"> ■住まいの役割を知り、家族によっていろいろな住まいの工夫ができるようにしよう。 <ul style="list-style-type: none"> ○同じ間取りでも、いろいろな家族構成や生活スタイルによって、使い方が違うことを知り、快適な住まい方を考える。 ☆住まいの基本的な機能や、間取り図の読み方、広さ、広告の読み方について説明する。

学習内容		時間数	学習活動 (■この項の学習課題／○生徒の活動, ☆教師の活動)	
C 衣生活・住生活と自立	2 快適に住まう	2. 安全な住まい(p.180～183)	4	<ul style="list-style-type: none"> ■家族の安全を考えた住まい方や、非常時の備えについて考えよう。 <ul style="list-style-type: none"> ○視聴覚教材を視聴し、事故の種類や原因がわかり、安全な住まい方と非常時の備えを考える。 ○高齢者や幼児を学校に迎える時の安全点検をする。 ☆非常時での地域の協力体制や、欠陥住宅についても説明の中で触れる。
		3. 快適な住まい(p.184～187)	1	<ul style="list-style-type: none"> ■快適で健康に配慮した住まい方の工夫をしよう。 <ul style="list-style-type: none"> ○学校の中のさまざまな場所を例に、適切な換気について考える。 ○生活騒音の種類と問題点を知り、防音対策を工夫する。 ☆騒音計があれば使用してみる。 ☆生徒や教師の体験談から快適な住まいの工夫をまとめるようにする。
D 身近な消費生活と環境	家庭生活と環境	4. 環境に配慮した生活(p.226～237)	4	<ul style="list-style-type: none"> ■環境に配慮したくらし方をしよう。 <ul style="list-style-type: none"> ○CO₂排出、排水、ゴミの問題について調べ、環境保全のために、家庭の中で何ができるか話し合い発表する。 ☆住居学習と関連させ、ライフラインと環境を関係させた説明をする。 ○持続可能な社会へ向けて地域の取り組みが行われていることを知り、聞き取り調査を行う。 ○聞き取り調査の内容を発表し合い、考えを深める。 ☆持続可能な社会は、家庭単独だけでなく地域の取り組みが効果を上げることが理解できるようにする。
		健康な食生活(その2)食品の選択と調理	2	<ul style="list-style-type: none"> ■健康な食生活を送るために食品についての知識を増やし、情報を自分で判断する大切さを知ろう。 <ul style="list-style-type: none"> ○加工食品の表示や読み方と意味を知る。 ☆生鮮食品と加工食品の特徴、食品加工の目的と保存の原理、食品添加物、保存方法は、表示を見ながら説明を補足する。
B 食生活と自立	健康な食生活(その2)食品の選択と調理	2. 食品の選択と保存(p.88～101)	4	<ul style="list-style-type: none"> ○ハンバーグの調理実習をして、手づくり食品と加工済み食品の比較をする。 ☆実習で使った調理済み食品のパッケージなどから食品の安全と情報について補足説明し、どのように食品を選ぶかを考える。 ○これまで実習してきたことをもとに、ハンバーグを主菜とした食事を含む1日分の献立を考え、そのうちの1食分を家でつくり、レポート発表する。
			生活の課題と実践(p.246～249)	1
D 身近な消費生活と環境	家庭生活と消費	1. 家庭生活と消費(p.208～209)	1	○食品の選択で扱った内容をもとにして生活に必要なものの流れを確認する。
		2. 商品の選択と購入(p.210～217)	3	<ul style="list-style-type: none"> ■消費生活のしくみと商品購入のプロセスを知り、人と地球にやさしい消費生活をめざそう。 <ul style="list-style-type: none"> ○ポテトチップスのパッケージと中身の試食から、表示について考え、商品購入のプロセスを知る。 ☆販売方法、支払い方法についても説明する。 ☆収入と消費のバランス、ニーズとウォンツにも触れる。
		3. よりよい消費生活のために(p.218～225)	2	<ul style="list-style-type: none"> ■消費者の権利と責任について理解し、人と地球にやさしい消費者になろう。 <ul style="list-style-type: none"> ○地域の消費生活センター、国民生活センター、消費者庁、企業の消費者窓口などで消費者を支えるしくみについて聞き取り調査をし、発表する。 ☆消費者トラブルについては3年でも扱うことを付け加える。

第3学年

学習内容		時間数	学習活動 (■この項の学習課題／○生徒の活動, ☆教師の活動)	
B 食生活と自立	健康な食生活(その3)食生活の課題とこれからの食生活	1. 健康と食生活(p.68～71)	2	<ul style="list-style-type: none"> ■自分の食生活をふり振り返り、日本型食生活の良さを知ろう。 <ul style="list-style-type: none"> ○自分の食事調べをしたり、よく食べる料理の調理を調べたりして、これまでの食に関する学習から課題を見つけて発表する。 ☆生活習慣病や家族の食の問題についても触れる。
		3. 調理をしよう(p.115～121)	2	○魚の調理実習(いわしの手開き)をする。
		4. 地域の食材と食文化(p.134～141)	2	<ul style="list-style-type: none"> ■自分たちの食生活を、地域や世界的な視点から直視してみよう。 <ul style="list-style-type: none"> ○地元でとれる野菜の調理実習を通して、地域の食文化を理解する。 ☆行事食についても説明する。
		3. 地域と世界へ目をむけて	2	○地産地消や食料自給率に関する視聴覚教材を見て、環境と日本の食料事情に配慮した食生活を考える。
D 身近な消費生活と環境	身近な消費生活	1. 家庭生活と消費(p.208～209)	4	<ul style="list-style-type: none"> ■生活にかかる金銭の収入と消費のバランスの大切さを知り、消費生活のトラブルを防ごう。 <ul style="list-style-type: none"> ○各自が設定した家族構成で、生活にかかる金銭がどのくらい必要か項目に分けて計算してみる。 ☆何を重視して生活するかで、収入と消費の仕方が違ってくることに気づかせる。 ☆収入と消費のバランス、ニーズとウォンツについても再度説明する。 ○悪質商法対策ゲームをやり、消費生活におけるトラブルとその解決方法を知る。 ☆実際の生活や将来の生活と結びつけて、実感できるようにまとめさせる。
		2. 商品の選択と購入(p.210～217)		<ul style="list-style-type: none"> ○商品購入のプロセス ○生活情報の活用 ○商品の価格 ○販売方法と支払い方法
		3. よりよい消費生活のために(p.218～225)		<ul style="list-style-type: none"> ○消費生活のトラブルを防ごう ○消費者の権利と責任 ○消費者を支えるしくみ
A 家族・家庭と子どもの成長	これからの自分と家族	1. わたしの成長と家族(p.18～21)	1	<ul style="list-style-type: none"> ■自分の成長と周囲の人とのかかわりを考えよう。 <ul style="list-style-type: none"> ○わたしのつながり図を書き、自分と周囲の人とのかかわりについてふり振り返り、これから自分で工夫できることをまとめる。 ☆1年時に書いたマインドマップ風のワークシートと比較させる。
		2. わたしたちと家族・家庭と地域(p.22～27)	3	<ul style="list-style-type: none"> ■家族や家庭生活の課題を見つけ、解決する方法を考えよう。 <ul style="list-style-type: none"> ○ゲストティーチャーとして地域の方(民生委員、支援センター職員など)を招いて、家族家庭の問題の事例を聞き、この後、深めて考えたい家族家庭の問題を設定する。 ○設定した問題の解決策を生徒のバネリストによる討論会方式を通して考える。 ☆バネリストの基礎資料はグループごとに分担して作るようにする。
		5. これからのわたしと家族(p.56～65)	1	<ul style="list-style-type: none"> ○家族関係をよりよくするために、家族の一員としてできることを考え、マインドマップ風のワークシートにまとめる。
		3年間をふり返って	0.5	<ul style="list-style-type: none"> ○よりよい家族家庭、地域にするために、3年間の学習をふり振り返り、家族や地域の中の一人としてどう生きるかについてまとめる。 ☆あくまでも家庭科の視点を入れてまとめるように留意する。

技術・家庭 家庭分野 3年間を見通した年間指導計画案 例③

—学習内容を発達段階に合わせて分け、全学年に調理実習を—

週(時)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	
1年 35時間	A 家族・家庭と子どもの成長							B 食生活と自立										C 衣生活・住生活と自立																		
	家庭分野ガイダンス		自分と家族		家庭生活と地域			健康な食生活 (その1)										健康な衣生活																		
	今までの自分		これからの自分		家族・家庭の機能			中学生の食生活と栄養										洗濯と汚れ落としのテスト																		
	調理実習… 米粉のだんご 食品の栄養的特質 栄養素の種類とはたらき 食事が果たす役割		調理実習… 豚肉のしょうが焼き さやえんどうのソテー コーンスープ ひじきの煮物 食品の栄養的特質 栄養素の種類とはたらき		調理実習… 豚汁・青菜のごまあえ 食品の栄養的特質 栄養素の種類とはたらき			1日分の献立と調理										実技テスト(まつり縫い・ボタ ンつけ)と手ぬぐいでつく る袋物																		
授業時数	2		3		2			4				1		5				1		5				2		4				1						
学習指導要領	A(1)ア		A(1)ア(2)ア		A(2)ア			B(1)アイ(2)ア(3)ア				B(3)ウ		B(1)アイ(2)ア(3)ア				B(3)ア		B(1)アイ(2)ア(3)ア				B(2)イ(3)ウ		C(1)アイウ				C(1)ウ,D(2)ア		C(1)ウ(3)ア				D(2)ア
教科書該当頁	①～21		22～27		22～27			68～87, 102～114, 122～129										150～157, 158～169								190, 191～201				170～173						
2年 35時間	A 家族・家庭と子どもの成長							C 衣生活・住生活と自立					D 身近な消費生活と環境			B 食生活と自立				D 身近な消費生活と環境																
	子どもの成長と家族							家族と住まい					家庭生活と環境			健康な食生活 (その2)				家庭生活と消費																
	自分の成長をふり返る		幼児の生活と発達の特徴		幼児の成長発達と遊び		ゲストティーチャーとして幼児とその親を招き、幼児のかかわり方の工夫をしよう 幼児が周囲の人とかかわり合えるような遊び方を考えよう			生活の課題と実践… 幼児とのふれ合いやかかわり方を工夫しよう		住居の機能と家族の住まい方			地域の防災調べ 健康と住まいの空気 安全な室内・音と生活 安全な住まい			環境に配慮した生活を考えたり、調べたりしよう ライフラインと環境			食品の表示と食品添加物 生鮮食品と加工食品				生活の課題と実践… 1日分の献立と調理 調理実習… ハンバーグ 手づくり食品と調理済み食品		購入について		ポテトチップスを調べよう 商品の選択と購入			消費者の権利と責任(聞き取り調査)				
	授業時数	1	2	2	4			2		3			4			1			4				1		3			2								
学習指導要領	A(1)ア	A(3)ア		A(3)アイ		A(3)イウ			A(3)エ		C(2)ア			C(2)アイ			C(3)イ			D(2)ア				B(2)ウ		B(1)ア(2)ウ(3)アウ			D(1)イ		D(1)アイ			D(1)ア		
教科書該当頁	28～47, 48～55							241～245		176～179			180～183			184～187			226～237				88～101		246～249			208～209		210～217			218～225			
3年 17・5時間	B 食生活と自立				D 身近な消費生活と環境				A 家族・家庭と子どもの成長					3年間をふり返って																						
	健康な食生活 (その3)				身近な消費生活				これからの自分と家族																											
	食生活の課題とこれからの食生活				悪質商法対策ゲーム 消費者を支える機関と法律 生活にかかる金銭 収入と消費のバランス				自分の成長や人間関係を客観的に見つめよう																											
	日本型食生活 自分の食生活をふり返る		調理実習… いわしの手開き 魚を食べよう		調理実習… 地域の野菜を使って 地域の食材と食文化		調理実習… 地域と世界へ目をむけて 食品の安全と情報		よりよい家族家庭・地域にしよう			（ゲストティーチャーとして民生委員などの話を聞く） 家族や家庭生活の課題を解決する方法を考えよう												Aすべて												
授業時数	2		2		2		2		4				1	3				1	0.5																	
学習指導要領	B(1)ア		B(3)アイ		B(3)アイ		B(2)ウ,D(2)ア		D(1)アイ				A(1)ア	A(2)アイ				Aすべて	すべて																	
教科書該当頁	68～71		115～121		134～141		208～209, 210～217, 218～225				18～21	22～27				56～65																				

・この年間指導計画例は、「A家族・家庭と子どもの成長」と「B食生活と自立」の学習内容を生徒の発達段階に合わせて配置した例で、次の4点に配慮しています。

- ①カリキュラム全体を通して、家庭生活と社会のつながりに目を向けることができるようにした。
- ②学んだことの定着をはかり、日常生活に生かしやすくすることをねらって各学年に調理実習を取り入れた。
- ③3年間を通して、学習内容や学習形態に人とのつながりを意識的に盛り込むようにした。
- ④学習領域が変わる時に、できるだけ前の領域で学んだことを関連させた導入になるようにした。

・この年間指導計画案の具体的な学習指導案は裏面に掲載しています。